

国民健康保険 健全運営をめざして

正しく使おう、みんなの医療費

加入者の協力が必要

今、私たちは健康で楽しく働いていますが、いつかガヤ病気になるかわかりません。

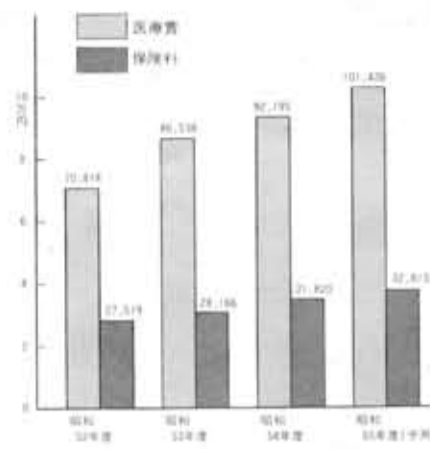
国民健康保険は、そのようなとき経済的な負担をやらせ、安心して治療に専念し、一日も早く健康で働ける暮らしにもどれるようにつくられた制度です。

今回は、市の国民健康保険事業についてみてみましょう。

国保財政

国民健康保険(国保)は、毎年みなさんがたの家庭の収入などに応じて負担していただく保険料と国からの補助金などにより、病気に

国保の1人あたりの医療費と保険料(年間)



かかって治療費の三割を

医療費のムダ使いは あなたの負担増を招く

医療費が増加する原因は、医療費自体の値上がりや老人医療無料化(三割の患者負担分は国などで負担)ですが、残りの七割は国保が

医療費

をした人に利用してもらい、さらには本年度では十一億円を突破するのではないかと推計されます。

これに、国保加入者一人あたりの年間で見ると、五十二年では約七万円、五十三年度では約八万六千円、五十四年度では約九万二千円、本年度では約十万円の治療を受けていることになりました。

このように、毎年医療費は増加しています。

国保のしくみ

国保が負担する医療費の七割分の財源は、国が四割

国保一口メモ

保険証は、正しくは「国民健康保険被保険者証」といいます。

国保に加入すると一世代に一枚ずつ交付されます。

保険証は、国保の被保険者であることの証明書であり、診療を受ける際の受付券でもありますので、大切に取扱ってください。

保険証を交付されたら、被保険者の氏名など内容にまちがいないか確かめてください。

お医者さんにかかるときは、必ず保険証を窓口へ出してください。保険証なしで診療を受けると、治療費を全額自分で負担しなければなりません。

お医者さんの診療がすんだら、必ず保険証を返してもらい、手元に保管するようにしてください。

他の市町村へ転出したり他の健康保険に加入したりする場合は、必ず保険証を市役所へ返してください。また、お医者さんにも必ず連絡してください。

保険証

負担しています。高額療養費支給制度などの給付面の改善によるもの、医学・薬学の進歩ならびに医療器械の開発による医療内容の高度化などいろいろいわれていますが、みなさん方が病院に行かれる回数も増えています。

万が一病気やケガのときは、国保を充分活用して

人間ドックで あなたの健康管理を

市では、昨年十月から、人間ドックによる総合健康診断の補助金制度を行っています。

これは、人間ドックの総合健康診断を受けてもらい、自分の健康管理に役立ててもらおうと同時に、その費用の一部を市が補助するというものです。

健康は、自分で管理するものです。人間ドック検診を受け、日常の健康管理に心がけましょう。

人間ドックの内容は

- (1) 半日人間ドックで、成人
- (2) 検査終了後に指導日時を定め、検査成績表による総合判定および今後の生活指導
- (3) 検査機関は京都第一赤十字病院検査センター
- (4) 補助金を受けられる資格
- (5) 1年以上前から引続き本市の国保に加入している35歳以上の人(前年度に補助金を受けていない人)

現在、入院または妊娠していない人

困りごと相談

あらゆる困りごとに、各機関の専門家が相談に応じます。

日時 5月27日(火) 午前10時～午後3時

場所 向日市民会館

無料法律相談

- 日時 5月24日(土) 午前10時～正午
- 場所 市役所1階市民相談室
- 内容 金銭貸借・土地・財産などの法律問題
- 予約日 22日(木) 午前9時から
- 受付 先着4名(電話でも可)
- 広報広聴課 内線二五一

予約制

「行楽シーズンに事故多し」



5月も半ばを過ぎ、山々も新緑につつまれ行楽地はマイカーでいっぱい。家族そろってのドライブで心もうかれがちです。

しかし、ちょっとした心のゆるみが交通事故につながります。

みんなで交通ルールを守り、無理のない楽しいドライブをしましょう。

